

町長日誌 No.215



町長日誌の第 215 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

9月17日 (金曜日) 17:00

秋ですね～！と言うより朝晩は「ストーブ無しでは寒くて」と言うご家庭も多いのではないのでしょうか？

さて、秋と言えば「秋鮭」ですが、今年は全道的に不漁と言われていますがお陰様で紋別・沙留・雄武などは豊漁でスタートしています。全道的に不漁のため価格も高いようで、イクラなどは品薄のようです。

今月9日から始まった議会定例会も本日終了しました。9月議会は前年度の決算が議会で審査されますが、お陰様で大きな指摘事項もなく認定されました。補正予算では令和6年10月に開園を予定しています「幼保連携型こども園」の建設に向けた実施設計費が決定されました。この「こども園」は民間のはまなす幼稚園と町立の興部保育所を統合して町が施設を整備し、はまなす学園に管理運営して頂くもので、すでに興部保育所は運営管理をはまなす学園にお任せしています。今は、お母さんたちも出産後なるべく早く職場に戻りたいという希望が多く、ゼロ歳保育の希望も増えています。また、小学校低学年の放課後対策なども合わせて新設のこども園で取り組む予定です。建設場所は興部小学校グラウンド横です。グラウンドは小学校と兼用し裏山は米田さんから町に寄贈されましたので、遊歩道や小川もあり子供たちが駆け回って遊べる環境が揃っている場所です。病院、中学校に続く大型建設事業になりますが、子育て環境の充実を目指して取り組んでまいります。

9月7日 (火曜日)

夕方、水産担当の職員と沙留漁港で行われているホタテの稚貝を中間育成施設へ移す作業を視察させていただきました。沙留漁協にはホタテ養殖部会があり稚貝の採苗から育成まで行



い、3cm以上に育った稚貝をホタテ貝漁業生産部会に販売しているのです。岸壁ではテント小屋を作り、春に海に設置した採苗器と言われるネトロンネットを2重にした網状の袋に1cm前後の稚貝がびっしり附着しています。これを汲み上げた海水で洗いながら一定の大きさの物だけを選別して、「座布団」と言われる、ちょうど魚を干すかごを段重ねにした様な育成籠に小分けして稚貝を入れます。この育成籠を船に積み沖にある中間育成施設で海中に吊り下げ育てるのです。この作業では選別や籠入れなどかなりの人手を要するのですが、部会では人集めに苦労をしていると聞きます。

さて、ここでホタテの豆知識です。ホタテ貝は生まれてからしばらくは全てがオスなのです。1～2年後に約半数が性転換をしてメスになります。一般的にホタテ貝は雌雄同体なのですが日本のホタテのみ雌雄が異なります。貝を開けると貝柱の横に三日月形の生殖巣がありますが白いのがオスで、赤いのがメスで卵巣なのです。ご存知でしたか？



先日、「ヒグマノート」を全戸に配布しました。今年はヒグマの出没が本町でも多く、専門家に町内を視察して頂き講演会も予定していましたが、緊急事態宣言のため開催できなくなりましたので、講師の方から紹介して頂いたヒグマノートをお配りすることにしました。山ブドウやキノコ採りに山に入る季節になりましたので、是非ご一読いただきヒグマの気持ちも解っていただければと思います。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

